



ジャンボ!とは、スワヒリ語で「こんにちは」の意味。転じて、この「出会い」を楽しむ関係=ネットワークづくりのココロイキとして、名づけました。



発行：もっともっと環境塾2000 編集：ジャンボ環境塾
 住所：〒460-0008 名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ12F
 なごやボランティア・NPOセンター 気付 メールボックス NO.4
 URL:<http://www.geocities.jp/mottomottokan2000/>
 E-Mail: motto2_2000@hotmail.com
 メーリングリスト: motto-2@yahoogroups.jp

まだまだ暑い日が続きますが、お元気ですか。

夏休みも終わりに近づき、宿題に追われる日々(?)。なんと、これも毎年の繰り返し。

さて、「もっともっと環境塾2000」は総会を経て、また新たな活動に一步進んでいます。今回は、総会の議事録も一緒にしてあります。あわせてお読みください。

活動実績 2005年4月～

- 2005/8/10(水)・・・「カンちゃんのダメダメ日記」 下水道科学館 夏まつり
- 2005/7/16(土)・・・7月 定例会
- 2005/7/9(土)・・・なごや環境塾修了生有志の会(仮称)
- 2005/7/2(土)・・・キッズ ISO プログラム「地球温暖化」 熱田区金山保育園
- 2005/6/18(土)・・・6月 定例会・環境塾修了生プロジェクト会議 第3回
- 2005/6/4(土)・・・「カンちゃんのダメダメ日記」 なごや水フェスタ
- 2005/6/1(水) 「カンちゃんのダメダメ日記」 天白区しまだ小学校
- 2005/5/24(火) 「カンちゃんのダメダメ日記」 港区明德小学校
- 2005/5/21(土) 2005年度 総会
- 2005/5/14(土)・・・環境塾修了生プロジェクト会議 第2回
- 2005/4/23(土)・・・4月 定例会



2005年度 総会

2005.5.21(土) 市リサイクル推進センター 3R会議室

参加者:会員9名+エコパル1名

エコパル館長を迎え、2005年度の総会が開催されました。会場は、最近利用するようになった名古屋市リサイクル推進センターの会議室でした。

近況報告・会員状況で様々な会員状況の変化が報告され、「もっと2」が岐路に来ていると感じさせられます。しかし、一人の市民として「できることをやる」という「もっと2」のコンセプトを持ち続け、活動していくことを確認しました。

報告事項や提案では、会計報告・活動報告がされ、この一年の活動や運営体制と活動費の基準が了承されました。

質疑応答では、なごや環境塾修了生プロジェクトについて話し合いました。エコパル館長から概略が説明された後、活発な意見が交わされ、個人として参加していくが、検討していくこととなりました。



カンちゃんに出会って、その後の子供たちは・・・

(文:K.A)

「環境かみしばいは、すごくよくわかるなと思いました。ごみをすてたら小さな虫がすごくめいわくになるんだなと思った。」

「わたしは、もっともっとかんきょうじゅくの人たちの心がよく伝わってきました。ものをたいせつにすること、分別をしっかりとすること。そして分別の仕方がわからないときはママにきいてどんどんおぼえます。」

「たのしかったです。ありがとう。みんながだんご虫になって、大きな布のガムがうえを通っていくのが楽しかったです。これからは余計な袋をもらわないようにします。また会うといいね。」

カンちゃんを実施した学校から、子ども達のお礼や感想の手紙を頂きます。

初めのころは、ほんとうに素直な子ども達の反応に、感心するやら、恐縮するやら、“通知表”を頂いた気分になったりしました。私たちの伝えたいことがきちんと伝わっていることがわかると、大変うれしくやりがいを感じたものです。でも、活動を進めていくうちに感じるがありました。子ども達の反応に温度差があるのです。なぜ？気のせいかとも思いました。

そのうちに気づいたことは、私たちに声をかけてくださった先生方の、気持ちが子供たちに伝わっているのではないかということです。とにかく、授業の消化のため、イベントのような位置づけで私たちに時間をくださった場合、子ども達の反応はとってもテンションが低いか、落ち着きの無い時間で終わります。逆に、先生方が私たちの授業をきっかけに、その後の授業に生かし、子供たちに何かを伝えたいと取り組んでいる先生の子供たちは、はじめから意欲的で、目をきらめかせ、私たちと一緒に考え、気づかされる内容の授業になっている気がします。

私たちが、カンちゃんと一緒に学校へお邪魔するのは、何かを教えに行くのではなく、きっかけを与えることにあると思っていますので、やはり、その後につなげていただきたいと思います。それを、なかなか追いかけることができませんが、先日、初めて、実感することがありました。カンちゃんを実施した学校へ、“買い物ゲーム”でお邪魔したときです。

「私を覚えてますか？」いきなりの質問にみんなきょとんとしていました。ヒントは「だんご虫」「わかったあ！」すぐに気がついてくれました。授業後、一人の女の子が駆け寄ってきてくれ「私、オマケにつられてお菓子買わないようになったよ。」

うれしくて、抱きしめてしまいました。食べ残し、手つかず食品の話を、生活に結び付けてくれていたんです。こういう活動がしたくて今まで取り組んできたんですね。

子供たちを取り巻く大人たちの意識が、いい意味でも、悪い意味でも伝わっていくことを私たちも認識をしておいた方がいいと思いました。うれしい変化は、最近のオファーは、先生方の意識がたいへん高く、その後の授業に役立つように、初めから位置づけている場合が増えているということです。

これからは、より授業や子ども達の生活に結びつけることを意識した内容にしていきたいですね。



近況

(文:A.N)

みなさん、こんにちは。

今年の夏も暑い日が続き、梅雨の時期もあまり雨が降らず、地球が悲鳴をあげているようです。

地球温暖化を防ぐためにも私たち一人一人の行動が重要になって来ているように思います。そのためには、少しでも多くの人に関心を持ってもらえるような活動が出来ればと思い、今回のイオン千種 SC における環境塾修了生プロジェクトに参加しました。

縁とは不思議なもので、以前ジャスコ名西店(残念なことに今年 6 月に閉店しましたが...)で子どもエコクラブに息子達が参加し、環境に関する内容でお店の人と一緒に店内探検や製紙メーカーでの紙すき、ウミガメの産卵現場見学、ジャスコ新店舗の植樹など親子で参加する行事などもあり、環境への関心が増したように記憶しています。

月日がたつのは早いもので、その時小学生だった上の息子は大学 1 年生になりました。私自身まだまだ未熟ですが、この先の子供達の将来を思うとこれ以上悪くならないために、できれば少しでも地球環境が良くなるために関わっていきたいと思います。

キーワード：地域社会・市民活動・環境保全活動・社会起業家

はじめに

地域社会(市民)活動と環境活動ということで、私自身の振り返りと重ねながら考えていきたいと思います。私は、学生時代幸運なことに素敵な社会人と接する機会が数多く、その方々に影響を受け感化し自分自身に変化が生まれました。その変化のきっかけは、接した社会人の方々の人間的な魅力だったような気がします。その魅力とは枠に固執せず困難に対して自らの手で切り開くたくましさです。特に組織に属しながらも、自らの目的意識を強く持ち個性や存在感を強く感じました。(もっと2のメンバーはずばり当てはまりますね。)そして、私自身の方向性や目標を重ね合わせ、身近な範囲から始められることは何かと考え、元々持っていた問題意識である環境問題と市民活動が結びつきました。

問題提起として、枠組みとは何でしょうか？

ここから、私の問題提起や疑問を掘り起こしながらテーマに沿って考えたいと思います。枠組みは一体誰が決めて、誰が従うのでしょうか？そもそも必要なものなのでしょうか？

恐らく、自然界や社会に枠組みは無いが、人間は確実に枠組みを感じていると思います。自然界の動植物には枠組みの概念は無く、むしろ生物の多様性が生み出す生態系の強さが絡み合うことで相互依存関係を形成し多面的機能を発揮しています。

例えば田んぼや畑と勝手に枠組みで囲って、単一化させるのは人間です。だから、病気になったら治療と称して農薬・消毒剤を散布し、手間を省くために人間が管理しやすい化学肥料を近代農業は頼ってしまいます。この反動は今まさに引き起こされ、環境負荷となって我々に降りかかっていますね。枠組みは、言葉を変えれば効率性の追求なのかもしれませんね。

事例紹介として

足助の自然農園での出来事です。我々は土地を借り、そこを田んぼや畑として枠組みで囲って活用しています。だから大人はその枠組み内のことだけに興味関心を抱かず、管理に一生懸命です。基本的に枠組みの外には無関心で手を出しません。しかし、在る秋の日のことでした。名古屋から来た二人の幼い兄弟は、棒を振り回し枠組みの外の世界で無邪気に遊んでいます。生き物を追いかけて小さい里山にも足を踏み入れています。帰り際二人は栗を手に持っており、「どこに落ちていたの？」とみんなで質問をすると畑から5m程先の枠組みの外(大人の視点)を指差しました。なんとそこには、栗の木があり実が実っていました。大人たちは、2年ほど足を運んでいてもまったく発見できなかった栗の木を子供は1日(数時間)で発見しました。枠組みからの脱却は気付きと覚悟することが大切ですね。

気付き

私はこの体験を通じて大人でも枠組みがあったとしても、両方の世界を行き来する、そんな感受性豊かな人間になることが、いつまでも問題意識を強く抱き存在感を発揮できる社会人の近道だと思っています。

自分が目指す社会人像がイメージ化できるようになれば、次のステップとしては、具体的にそれらを活用できる組織形態や場を探し、自分の問題意識をより明確にすることです。ここでの近道は、事例を探しその分野で活躍されている人々と話し合うことだと考えました。ですから、その時期は自分でもよくやったなーと感心していますが、アポを取り色々な人に会いに行きました。色々な人と会って話をすると、見えてくるものも多いですが、迷うことも多かったです。情報の整理や選択は重要ですね。

このような紆余曲折？をしながらも、自分の将来設計を構築していきましたが、始めから理想のものに巡りあう事は難しく、修行時代だと自分を納得させながら福祉に強みを持った中間支援組織のNPOで活動を始めました。私は日々の生活で、もやもやは数多くありました。地域社会問題は、見過ごしても影響はほとんど無いのかもしれませんが、1つ1つ解決することで、より素晴らしい地域社会を形成できると思いました。だから楽しかったのですが、フレキシブルな組織であるはずのNPOが、ここでは私の考える枠組みとして立ちはだかりました。NPOの組織形態は案外動きにくかったです。詳細はテーマがぼやけてしまうのでここでは割愛したいと思います。

今現在、社会起業家というスタンスが私の自己実現の近道だと思っていますが、構造的な枠組みという壁があり別方向から関わりたいと考えています。(漠然ですが・・・)

まとめとして

枠組みを通じて学んだことは、問題意識をしっかり持ち、感受性豊かに柔軟的に自らの手で未来を切り開き、あきらめないことかもしれません。そのためには、枠組みに縛られないように自己を強く持ち、社会構造に対して立ち向かいながら生計を立てる道筋を造ることです。途方も無い目標のため、今努力を重ねることだと思います。(挫折時に思い出さなくてははいけませんね!!)この原稿を書きながら背中を押していただけるもっと2のメンバーのパワーに感嘆し終わりたいです。

今回、もっともっと環境塾を退会した身でありながらもこのような機会を与えていただきました皆様に感謝いたします。また、精神論的な話になってしまったことをお詫びします。

キッズ ISO プログラム「地球温暖化」

2005.7.2(土) 中区金山保育園

なごやエコキッズ環境サポーターとして、エコパルからの依頼を受けてプログラム「地球温暖化」 私たちにできること 小さな10歩、たくさんの1歩 を中区にある金山保育園で実施しました。

保護者が約60名と保育士約5名という大勢の大人を前に、絵本の読み聞かせを加えてみました。

親子で笹飾りづくりの前に、保護者セミナーとして開催されたため、部屋は熱気であふれ、温暖化防止のための話をしているのにチョット冷房が効きすぎていたと指摘されました。実施している側として反省。(冷や汗たらー！)

ここで読んだ絵本は、「もったいないばあさん」。最近、話題の絵本です。もっと2の活動でも時々紹介することになっていますよ。



市上下水道局イベント

もっと2の応援団の一員であるY局長と縁があり、「カンちゃん」が今回は二つのイベントに参加しました。本当に出会いは大切ですね。

水との関係を考えて、「カンちゃん」にウミガメを登場させています。

なごや水フェスタ 2005.6.4(土)
ささしまサテライト会場 市民展示館



下水道科学館 夏まつり 2005.8.10(水)



お知らせ掲示板

- ・ 9月16日(金)「カンちゃんのダメダメ日記」 中村区ほのか小学校
- ・ 9月定例会 9月17日(土) 13:30~15:30
市リサイクル推進センター 3R会議室

編集後記

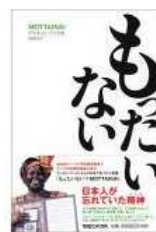
夏休みの宿題の一つ、ジャンボ通信 VOL.8を無事に発行できてヤレヤレという感じです。しかし、まだ暑さに参ってます。

なごや環境塾有志の会の設立や企画が紆余曲折で進行中です。企業・行政等と連携し、環境学習の実施や環境情報の発信を通じて、環境保全意識の高い市民の輪を広げ、自らの成長を目指しています。「もっと2」もその様子をお知らせしていきたいと思っています。

04年ノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさん。マータイさんは、「MOTTAINAI」運動を世界中で提唱しています。「もったいない」は、日本人が忘れてしまった言葉なのでしょうか。紙芝居「カンちゃん」を実施すると、よく子どもたちの口から聞くことができます。ただ、行動が伴わないだけではないのでしょうか。そこで絵本を紹介したり、読んだりするようになりました。

「もったいないばあさん」「もったいないじいさん」・・・誰の顔が浮かびます?
(BY ドクダー)

本の紹介



もっとも
2000
環境塾